

コース概要

皮膚科専攻コース

【プログラムの目的と特色】

皮膚科の専門医を目指す医師として、皮膚科特有の検査法、手技、治療法を習得し、皮膚外科手術を含めて全ての皮膚疾患に対して適切な処置ができる能力を身につけることができるプログラムとしている。

【研修内容】

1年次

- ・外来1～2日／週 初診患者担当
- ・新患の診断、治療方針、手術計画を指導医のもとで研修する。
- ・再診 自分が担当した患者の経過を診る。
- ・病棟 皮膚科基本処置の習得。指導医と2人で患者を担当する。
- ・入院を要する疾患の全身・局所管理、術後患者の全身、局所管理
- ・熱傷の局所処置などを習得する。
- ・手技 切開、止血、縫合（表皮、真皮）が確実に行えるようにする。
- ・皮膚（顔面を除く）小腫瘍の切除、顔面、関節以外の植皮

2年次

- ・外来 2～3日／週 担当
- ・新患の診断、治療方針、手術計画を自分で立てる。
- ・再診 自分が担当した患者の経過を診る。
- ・病棟 1人で担当し、すべての入院管理を行う。
- ・手技 顔面の小腫瘍摘出術、顔面の皮弁作成手術
- ・顔面、関節の植皮

3年次

- ・外来 3日／週 担当
- ・新患の診断、治療を一人で行う。
- ・病棟 1人で担当し、すべての入院管理を行う。
- ・手技 顔面の悪性腫瘍手術、各種の植皮、皮弁手術

【到達目標】

- ・皮膚の構造、生理、生化学、免疫学について理解する。
- ・頻発皮膚疾患および主要皮膚疾患の臨床像、病理所見、病態生理を熟知して鑑別診断を述べることができる。
- ・皮膚科検査を計画を実施し、その成績を正確に評価できる。
- ・主要薬剤の薬理・副作用を理解し、正しく投与する。
- ・皮膚科的常用処置を実施することができる。
- ・皮膚外科手術に際して術者または助手となることができる
- ・皮膚疾患患者の病歴、現症、経過、実施診療行為等を適切に診療録に記載する。
- ・患者およびその家族と適切に対応し、指導できる。



コース概要

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
午前	外来	外来	外来 病棟回診	手術	外来
午後	病棟回診 外来手術 レーザー治療	病棟回診 外来手術 レーザー治療	褥瘡回診	手術 病棟回診	フットケア外来 病棟回診

【主催勉強会】

奈良県皮膚科研究会、奈良県皮膚感染症研究会など

【平成22年度手術実績】

	入院	外来	合計
熱傷	7	2	9
外傷(顔面軟部損傷)	5	16	21
先天異常	6	6	16
皮膚良性腫瘍	11	112	123
皮膚悪性腫瘍	37	8	45
他科手術後再建	7	0	7
瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイド	3	10	13
難治性潰瘍	18	2	20
静脈瘤、血栓性静脈炎	4	2	6
眼瞼下垂症	6	4	10
レーザー治療	0	54	54
合計	104	216	324

【指導医】

医師名	役職	医師資格 取得年	所属学会・資格等	専門領域
多田 英之	部長	平 1	日本形成外科学会認定専門医、皮膚腫瘍外科指導専門医、日本がん治療機構暫定教育医、奈良医大臨床教授、奈良医大非常勤講師、日本皮膚科学会、日本形成外科学会、日本皮膚外科学会、日本美容皮膚科学会、日本褥瘡学会、日本レーザー医学会、日本臨床皮膚科医会、医学博士など	皮膚科一般、形成外科、皮膚外科
飯田 秀之	医長	平 13	日本皮膚科学会認定専門医、日本研究皮膚科学会、医学博士	皮膚科一般

【取得可能な認定医・専門医】

日本皮膚科学会認定専門医
日本形成外科学会認定専門医

【学会認定・施設】

日本皮膚科学会専門医研修施設
日本形成外科学会教育関連施設